



1月えんだより

1月の予定

日	曜日	行事予定	対象
13	木	避難訓練	全クラス
18	火	誕生会	各クラス

あけましておめでとうございます

今年度も残り3か月となりました。保育ではこれからの進級、進学に向けた最終段階に入っていきます。特に、年長児や幼児組に上がる2歳児にとっては今までと環境が大きく変わる時です。新しい環境に馴染めるよう事前準備をしっかりと心がけ、スムーズに移行できるよう配慮していきます。何か心配な点がありましたら、いつでも保育者、事務所までお声がけください。

支援するってどういうこと？

昨年、9月の全体会や園だよりで「支援」という子育てのテーマについてお伝えしました。家庭の養育態度が子どもが大人になった時、どのように収入、学歴、幸福感、倫理観につながっているのかを調査を基に説明いたしました。とはいえ、具体的に支援って何？については、何もお伝えしていません。

このことに触れるために少し視点を変えて社会人の基礎力という考え方を基に逆算的に話していきたいと思えます。

社会人の基礎力

社会人の基礎力とは2006年に経産省が提唱した概念で、現在ではこの考え方をベースに教育要領も改定されています。基礎力とは3つの力と12のスキルに体系化されたもので、平成

1. 前に踏み出す力: 主体性・働きかけ力・実行力
2. 「考え抜く力」: 課題発見力・計画力・想像力
3. 「チームで働く力」: 発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール力

30年これに加え、3つの視点が加えられました。

その視点が「目的：どう活躍するか」「学び：何を学ぶか」「組み合わせ：どのように学ぶか」の3つで、この視点を身につけるために教育要領では「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「人間力」の3つの柱に対応させた形になりました。

我々が見ても「これだけの能力が必要なのか。」と途方に暮れそうですが、現代の変化の激しい社会情勢を考えれば、それも必要不可欠なものであることは納得するしかありません。

また、大人誰もがこの能力を扱えるのかと言われれば「ちょ

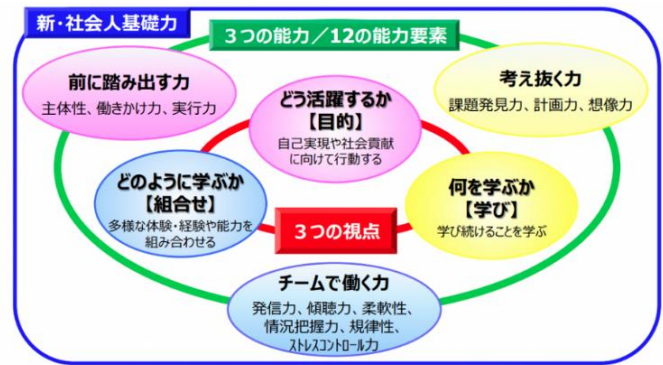


っと待てよ。」とキムタクが怒ってくれそうですが、そういうわけでもなく、時代とともに必要な能力が現れてきたと考えたほうがよさそうです。

(前頁の内容が右図となります。)

さて、本題に戻ります。子どもへの支援と考えるときに、やはり目的が必要です。

そういった意味では、産経省の社会人基礎力でいう「どう活躍するか」の視点は、われわれ大人にとっても、実際にその場に放り込まれる子どもにとってもとても大切な内容です。AIの目覚ましい進展が今後も継続するであろう未来の世界は全く予想できませんが、より人間力の重要性が問われる時代になると予想されています。



IQ と EQ

僕らの時代は IQ が個人の能力を図る唯一無二の物でした。ですので IQ の高さが時代のトレンドでした。今ではあり得ませんが、僕が小学校のころ知能指数を図るテストを受けたことを覚えています。それほどまでに、重要視されていた時代でした。

IQ は、いわゆる、**頭の良さを測る指標であり**、IQ が高い人は高学歴で、ビジネスでも成功しやすい。そんな印象を持つ人が多数だったのです。そういう部分はありますが、ビジネスで成功している人が、必ずしも IQ が高い訳ではないのはなんとなく現実の世界で起きている事柄です。何か別の要因があるのでは？と EQ を提唱した 2 人の学者が研究を始めました。

2 人は、ビジネスパーソンを対象にした調査を行い、導き出したのが「**ビジネスで成功した人は、ほぼ例外なく、対人関係能力に優れている**」という結論でした。そして、対人関係を上手に築く要因は、**自分の感情の状態を把握し、コントロールした上で、周囲の人の気持ちにも働きかける能力を持っている**、と指摘。結果的に、協力者が集まりやすく、ビジネスにも成功するケースが多いとして、この能力を EQ と名付けたそうです。

その内容を心理学博士のダニエル・ゴールマン氏が「Emotional Intelligence」として刊行し、その翻訳本が 1996 年日本でも発刊されました。略して「EQ」として瞬く間にその考え方が世を席捲したことを覚えている方もいらっしゃるかと思います。

ちなみに、IQ は先天的要素が大きいといわれ、EQ は後天的に身につくものといわれています。個人の環境に左右されるものとなるわけなのです。

そう考えると支援する内容としては、EQ に現わされる後天的な能力をいかに身に着けられるかが重要となってくることが考えられます。特に、EQ の能力は次の 4 つ力の循環で高まるといわれているそうです。①感情の識別、②感情の利用、③感情の理解、④感情の調整

来月は、以上の 4 つの力を説明しながら、保育園で行っている支援の在り方を振り返り、皆様と共有していきたいと考えております。

来月に続く